

やまがた 労福協 NEWS 新年号 No.24

発行所／一般社団法人 山形県労働者福祉協議会 〒990-0044 山形市木の実町12-37

TEL 023-641-6503 FAX 023-641-6830 URL <http://yamagata.rofuku.net/> 2016.1.1

「持続可能な社会」をめざして、 労福協活動を推進しよう！

一般社団法人山形県労働者福祉協議会

理事長 岡田新一

新年おめでとうございます。

さて、安倍政権が誕生して3年が経過しました。日本経済は、デフレから脱却できず、昨年4月以降マイナス成長に陥り、特に地方と中小企業には波及効果が少ないアベノミクスは破綻したといえます。

そこで、政府は昨年、新たに少子高齢社会に挑むためとして、「新3本の矢」(GDP600兆円、希望出生率1.8、介護離職ゼロ)を唐突に掲げました。さらに、「一億総活躍社会」という、わけが分からず実態の見えない社会像を打ち出してきました。これは、まさに、アベノミクスが破綻したことから国民の目をそらすとともに、政権の維持・延命を狙ったものです。私たちは、政権の維持・延命策としての政策ではなく、国民生活として「持続可能な社会」に向けた政策を実現させなくてはなりません。

労福協としては、昨年から「給付型奨学金制度の導入と教育費負担の軽減」を求める取り組みを行っています。大学の学費高騰と家計収入の減少により、今や大学生の2人に1人が何らかの「奨学金」を利用し、不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ、返済できない人たちが増加しています。

こうした状況が続ければ、貧困の連鎖にとどまらず、「中間層」も結婚・出産・子育てが困難となり、少子化や人口減少を加速することとなります。未来を担う若者を全体で支え「持続可能な社会」にするために、奨学金制度改善と教育費負担軽減の取り組みは重要です。今年も、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

理事長	岡田新一	理事	設樂正	理事	館内悟
副理事長	大泉敏男	ク	高橋和美	ク	山口清
ク	熊澤年啓	ク	佐藤久志	ク	梅津庸成
ク	武田豊	ク	本間秀司	監事	柏木実
専務理事	鈴木正弘	ク	大友廣和	ク	金田宏治

若者を苦しめる 奨学金問題の解決を！

給付型奨学金制度の導入・拡充と、
教育費負担の軽減を求める 署名活動

実施中です！

一般社団法人
山形県労働者福祉協議会



新年のあいさつ

(加盟団体・顧問・地区労福協)



連合山形
事務局長 設樂 正

新年明けましておめでとうございます。昨年は、戦後最長となった通常国会で、民意を無視し強行採決した『安全保障関連法案』、そして働く者の立場では「生涯派遣・低賃金」につながる『改正労働者派遣法』が成立しました。また4日に召集される通常国会では、解雇の金銭解決とホワイトカラー・エグゼンプションや裁量労働制の拡大を含む労働時間規制を緩和する『労働基準法改正案』の審議が予定されています。

このような中、7月には「参議院議員選挙」が行われ、全国では各産別組織から多くの組織内候補者が立候補を予定しています。また山形県選挙区においては無所属「舟山やすえ」さんが立候補の決意を固め、連合山形は「推薦」することを機関決定しました。

強行採決による「数の力で解決」する手法にストップをかけ、「命、暮らし、雇用を第一に考える政治」の立て直しが必要です。そのためには、この政治決戦を制しなければなりません。

連合山形は、これら取り組みにあたっては、一体感・連携を大事にしながら、全力を尽くして参ります。皆さまのご支援をお願い申し上げ、本年が喜びや希望にあふれた年となりますよう祈念し、年頭の挨拶といたします。



東北労働金庫山形県本部
本部長 大泉 敏男

東北ろうきんは、1951（昭和26）年、物資不足、低賃金、賃金遅配、解雇等で生活に困っている仲間をみんなで助けようという、あたたかな絆から生まれた「会員協同組織の福祉金融機関」です。設立以来、働く仲間の「生活を支え」「夢をかなえ」てきた歴史と役割があります。

今、格差社会がますます進行し、若者を苦しめる奨学金、中高年の非正規労働者、下流老人など新たな社会問題が大きくなっている中で、これまで以上にろうきんの役割が重要となっています。

ろうきんの強みは会員組織の力です。本年は、会員の皆様と役職員が一致団結し、「申」年にふさわしく、預金・融資の実績を大きく「伸」ばし、努力・頑張りが「実を結ぶ」年にしたいと念願しております。

本年もより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸をご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



全労済山形県本部
本部長 熊澤 年啓

新年明けましておめでとうございます。ご家族共々輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は『協同組合運動の原点回帰の取り組み』と称し、数々のイベントを催しながら皆様とのふれあいを通じ、助け合いの心の輪を広げる事が出来ました。心より感謝申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、今尚続いている国際的な紛争や社会福祉関連の負担増、児童虐待等年々不安要素が拡大している傾向にあり本格的な春の訪れには、まだしばらくの辛抱が必要の様子です。

今年の干支は、丙申です。この丙申の意味は、「丙」は明らかという意味です。樹木に例えると『形が明らかになってくる』と言われています。「申」は果樹が成熟して、固まっていく状態を表しますので、今年の全労済も、Zetwork-60を推進し3年目を迎えますので、これまでの取り組みが少しずつ形として表れ、芽が生え実になるよう役職員一丸となって取り組んでまいります。これから生まれ変わろうとしている全労済をより一層ご支援・ご協力をお願い申し上げると共に、新しい年が皆様方とご家族様にとって、希望に満ちた年でありますようお祈り申し上げます。

山形県労働者住宅生活協同組合
理事長 小口 裕之



新年明けましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になり心より感謝申し上げます。皆様のご支援を頂きながら、念願であった『ガーデンテラス七日町』（サービス付き高齢者賃貸住宅）がようやく満室となりました。重ねて感謝申し上げます。尚一層、職員一同心をこめた生活スペースの提供に努めてまいります。

分譲事業についても上山市長清水や山形市千歳などハウスメーカーの皆さんと連携を図りながら新規事業拡大に向け取り組んでおります。共に支えあう、労働者のため生協運動を2016年も全力で展開してまいります。引き続きのご愛顧を心からお願いし、念頭のごあいさつといたします。



山形県生活協同組合連合会
会長理事 松本 政裕

新年明けましておめでとうございます。
昨年9月に安全保障関連法が可決されました。集団的自衛権の行使容認を含む安保法の内容については、国民の過半数の反対とともに、多くの法律関係者からも憲法違反であり立憲主義にもとるという意志が示されました。

10月には、TPPの大筋合意が発表されました。これまで私たちはTPP反対山形県連絡会を通じた連携で、国会決議の順守を求める運動を進めてきました。しかし交渉内容を明らかにせず、国民的議論もないまま大筋合意に至ったことは甚だ遺憾です。

私たち生協は、「平和とより良い暮らしを求めて」をスローガンに掲げて、生協運動を進めてまいりました。今年は国政選挙もあり、改めて「平和と地域のくらし」を守るための協同の取組が大切な年になると思います。

本年が皆様にとって良い年になりますことをご祈念申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。



(公財) 山形県労働者育成教育基金協会
事務局長 山口 清

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
昨年中は当協会の活動に対しまして、ご支援、ご協力を賜り、心から感謝し厚く御礼申し上げます。

当協会は山形県はじめ県内全市町村の絶大なるご支援を得るとともに、連合山形、労福協、県内の労働者福祉事業団体および労働金庫が一体となり、1993年（平成5年）11月1日に設立し今年23年目を迎えます。

当協会は、2012年（平成24年）4月1日に公益法人の認定を受け、また2013年（平成25年）4月1日に事業所登録を行い、さらに昨年4月1日から定款の変更を行い公益事業を追加し事業展開を行っております。

おかげさまにて当協会の事業の柱である利子補給事業では、利子補給認定者が2,752名（2015年9月末現在）となり、利子補給金交付累計は、3億4,090万円余となりました。

今日の厳しい経済環境により家計に占める教育費の経済的負担は増すばかりであり、当協会で行っている利子補給事業に対する期待は一層高まっているものと考えます。

あすの山形を担う若者の県内定着と地域活性化に向け、なお一層努力してまいります。

本年が良い年でありますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶をいたします。



山形県労福協顧問
弁護士 設楽 作巳

あけましておめでとうございます。
旧年中は集団的自衛権の問題で色々ありました。

安倍総理は安保法案成立後、途端にGDP年600兆円、出生率1.8と言いだし、安倍ノミクスによる更なる経済発展を宣言している。

しかし経済成長があらゆる問題を解決する特効薬ではない。経済成長で富が増大すれば、その富が国民のすべてに均霑する



(一社)山形県労働者福祉センター
理事 館内 悟

新年あけましておめでとうございます。
日頃より労働者福祉センター（大手門パルズ）をご利用いただき心より感謝と御礼を申し上げます。

また、昨年は労働者福祉協議会に集う皆様より、様々なイベントや会議・宴会の利用拡大に向けご協力いただきましたことに、重ねて御礼を申し上げます。

本年も、経営諸施策への取り組みや、一般社団法人として労働者及び県民のための福祉活動の推進、地域社会の健全な発展のための地域貢献活動の推進に努め、「低廉な料金で、利用しやすい大手門パルズ」をめざし、職員一同、良質なサービスを心がけていく所存であります。

2016年が皆様にとって素晴らしい年となることをご祈念申し上げ、新春のご挨拶をいたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



(一社) 山形県経済社会研究所
専務理事 梅津 康成



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。山形県経済社会研究所（連合山形総研）への日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。

人口が減少し、高齢化が進展する中で、地域を創生するための諸施策が具体化されようとしていますが、その社会・経済的影響が期待通りの結果となるのかどうかは、極めて不透明であります。

そうした中で経済動向はもとより、規制緩和などの産業問題や女性の活用、雇用の在り方などの労働政策問題、教育問題など、地域に着目した研究を行う機関として、つぶさに分析・評価し、生活の安定・改善に資する提言がなし得ることは極めて重要であります。引き続き努力して参る所存であります。

皆様方にとって、すばらしい一年になりますこと心からご祈念申し上げ、新春の挨拶をいたします。

というのが経済成長の根拠だが、それがかえって貧富の格差社会をもたらすのが現実である。日本はそれなりに成長し資本主義経済は十分に成熟している。そして日本は目下少子高齢化、人口減少が急速に進んでいる。このうえ企業が物を生産しても、これを消費する需要の期待は持てない。

被雇用者の4割が非正規社員で、年収200万円以下が1千万人を下らないという現実は、従前の経済成長一点張りでは解決できない。真に豊かな充実した社会を形成するための方策として、今こそ正義に基づく富の再分配を考えてよいと思うのですが、どうでしょうか。



飽海地区労働者福祉協議会
会長 戸塚 秀樹

新年明けましておめでとうございます。
日頃の労福協活動へのご理解、ご協力に心よりお礼申し上げます。
飽海地区労福協は、今年度も「人とくらし、環境に優しい福祉社会の実現！」をスローガンに取り組みを進めております。

主な活動として、①会員交流ビアガーデン（8月）、②勤労者体育祭（7月～）、③無料法律相談（偶数月）、④ろうきんクリーン作戦（春と秋）、⑤婚活事業「ふれ愛ときめきパーティー」（2月予定）、⑥ライフサポートセミナー（3月予定）等の事業を構成団体の協力のもと実施するとともに、労働者福祉の向上をめざして、酒田市への要請書を提出しています。

飽海地区労福協は、これからも会員、構成団体のニーズにあった事業・活動で、さらなる発展を図っていきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

最上地区労働者福祉協議会
会長 矢口 昌博



新年明けましておめでとうございます。
日頃より最上地区労福協の取り組みに対し、特段のご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

地区労福協では、ゴルフコンペの開催やクリーン作戦を行い、その後に実施した芋煮会で親睦を深めてきました。また、講演会では多くの方々の参加を頂きながら、今後の生活の糧とすることことができました。

景気は緩やかに回復基調にあるとは言え、まだまだ労働者全体会が実感できる状況にはありません。これからも共助・協同の精神で労働者及びその家族の生活向上と福祉の充実に向け、地域に根ざした活動を展開して参りますので、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



西村山地区労働者福祉協議会
会長 金子 冬樹

明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、地区労福協に大変なるご支援とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

地区労福協として、勤労者体育祭やクリーン作戦等を開催して、地域勤労者との輪を広げてまいりました。

中国をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れなどから、国内の景気の先行きが不透明の中で、私たちを取り巻く情勢は更に厳しさを増す年となりそうです。

地区労福協として、生活向上と充実をめざし、さらに共助・協同の輪を広げる地域に根ざした活動の展開を図ってまいります。

皆様方には、更なるご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



田川地区労働者福祉協議会
会長 工藤 博

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

田川地区労働者福祉協議会は構成団体の連帯を中心に、弁護士・司法書士による無料法律相談の定期開催、福祉事業の充実を図る労金・全労済・生協の推進、福利厚生事業として勤労者体育祭やクリーン作戦など、自治体や関係団体のご理解ご協力のもと、勤労者の生活向上に取り組んできました。

設立7年目を迎え、地域に暮らす勤労者と家族が安心して暮らしていく社会を目指して、運動を更に進めていきたいと考えておりますので、皆様方の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



北村山地区労働者福祉協議会
会長 高橋 正昭

新年明けましておめでとうございます。
日頃の労働福祉活動へのご理解とご協力に心から御礼申し上げます。

地区労福協活動は、地域に根差した運動を続けてきました。特に、年末の福祉施設清掃ボランティア活動は大変な好評を頂いております。しかし、私たちの活動は、単なるボランティア活動だけでなく、そこで生活する方や働いている方とのふれ合いの中から、「安心社会」のあり方を学んできました。今セーフティーネットが不安な時に来ているのではないかでしょうか。学び、話し合い原点に帰りながら、安心できる社会の実現を共に目指していきたいと思います。そして、多くの先輩に学びながら取り組みを続けて参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



天童地区労働者福祉協議会
会長 朝倉 義幸

新年あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今期より天童地区労福協の会長を仰せつかりました朝倉です。旧年中までの会員の皆様及び諸先輩方のこれまでの御努力に感謝申し上げます。

さて国内経済は「アベノミクス」による成果を自負する政府とは、裏腹に、税負担、物価上昇等による可処分所得の減少により、私たち勤労者には景気の良化は感じられてはいません。

このような中、まさに働く者・生活者の安心と将来に希望を持てる社会を目指し、加盟団体と協力しながら活動を展開してまいりますので、皆様方のご支援・ご協力を、本年もどうぞよろしくお願い致します。



山形地区労働者福祉協議会
会長 細谷 英司

新年明けましておめでとうございます。
さて、第二安倍政権は新自由主義の下、
「経済成長」を至上とする「アベノミクス」政策が進められ、株価は上昇し円安が進みましたが、労働者の生活が好転したという実感はありません。加えて、労働法の改悪や規制緩和などにより不安定雇用・低賃金労働者を増大させ、貧困・格差は更に拡大しています。

労福協運動として、共助組織である労働組合、労働者自主福祉団体・協同組合と連携を図り、労働者とその家族が安心して生活ができ、豊さが実感できる社会の実現に向けて取組んで参ります。本年度も会員・加盟団体の皆さまよりご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



西置賜地区労働者福祉協議会
会長 伊藤 由雄

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は当地区労福協に対しまして、特段のご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

経営者に有利な労働法制の緩和、国会内で数の力による安全保障関連法の強引な成立、「アベノミクス」により一部大企業・富裕層への恩恵が波及してしまい、景気回復といった実感は私たちにはありません。

本年も会員・加入団体の皆さまと連携し、労働者及びその家族がゆとりと豊かさを実感できる社会を築くために積極的に取り組んで参りますので、今後もご支援・ご協力をお願い申し上げます。



米沢地区労働者福祉協議会
会長 安部 照薰

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、当地区労福協に対しまして、特段のご指導を賜り心より感謝申し上げます。

安倍政権のやりたい放題を何としてもストップをかけなければなりません。必ず参議院選挙を勝利し、日本が間違った方向にすすまぬように、舵取りができる社会の実現に向けてお互い頑張りましょう。

皆様にとって輝かしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

本年も変わらぬご指導、ご協力を願い致します。



上山地区労働者福祉協議会
会長 枝松 直樹

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、安保法案の強行採決、辺野古への巨大基地建設、TPP大筋合意、消費税の軽減税率への創価学会の圧力、などなど減入ってくるニュースが目白押しでした。

世の中がこれほどおかしな状況にあるのに、マスコミは、NEWS23のアンカーである岸井氏への降板攻撃などにおじけつき、マスコミの使命が果たせなくなっています。

国連開発計画が先月発表した、2015年版の国民生活の豊かさを示す「人間開発指数」の世界ランキングでは日本が20位（前年19位）、首位は前年に続きノルウェー。米国は8位、中国は90位でした。貧困化が確実に進んでいる日本、これを修正するのは、夏の参院選でしょう。どうぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。



東置賜地区労働者福祉協議会
会長 針生 富雄

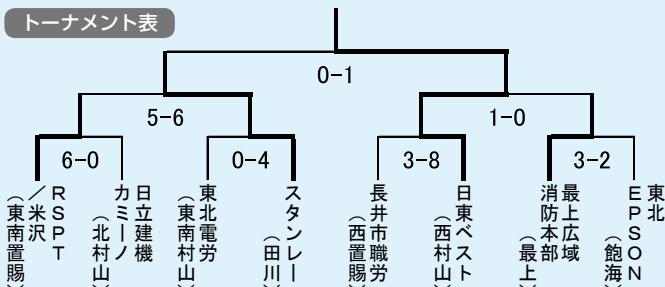
2016年、戦後71年目の年が明けました。
戦後政治に終止符を打つとは戦争の始まりだったのです。私たちの生活が、生命が危機にさらされています。戦争も、原発も、労働も、私たちは生きることの危機にさらされているのではないでしょうか。「増税します。年金減らします。解雇自由になります。残業代なくします。学費を上げます。医療費負担増やします。生活保護は縮め付けます。配偶者控除なくします。共働きしてください。子どもは産んでください。保育所は増やしません。PM2.5は気にかけますが福島原発の放射能汚染は話題にしません。なにより原発は再稼働します。言い値でアメリカ産兵器を買います。代わりに法人税は下げます。」「ウソつかない、ブレない」国民政党の政治との決別の夏が来ます。

勤労者体育祭県大会 軟式野球

開催日 10月17日(土)、31日(土)

会場 山形県総合運動公園 野球場

トーナメント表



順位	チーム名	地区名
優勝	日東ベスト	西村山
準優勝	スタンレー	田川
第3位	最上広域消防本部EMERGENCY	最上
〃	RSPT/米沢	東南置賜



山形県と県労福協の懇談会

11月19日大手門パルズにて「山形県と県労福協の懇談会」を開催し、山形県からは細谷副知事や関係各課長ら計7名が出席、県労福協は各加盟団体代表者ら12名が参加しました。

はじめに、県労福協として取りまとめた「勤労者福祉拡充に関する要請書」を岡田理事長から細谷副知事に手渡しました。

要請事項は右記12項目です。要請書全文は県労福協ホームページで確認できます。県からの回答は後日いただきます。

懇談では、細谷副知事より要請事項のひとつである「生活困窮者自立支援制度の関係」について回答が示されたほか、要請事項の中から「奨学金問題の是正関係」「介護保険制度の充実関係」に絞って意見交換を行いました。



細谷副知事へ要請書を手渡す岡田理事長

県政の勤労者福祉拡充に関する要請（抜粋）

- 協同組合の支援強化と育成・発展に向けた県民への周知について
- 東日本大震災の被災者、避難者への生活支援策について
- 地方消費者行政の充実・強化について
- 生活困窮者自立支援制度の構築と奨学金問題の是正について
- 介護に関する施策の充実について
- 子育て支援の充実について
- 食品の安全・安心の確保について
- 勤労者の生活設計・保障への支援策について
- 「補助金」「委託料」の増額と「支援・対策資金」の継続措置などについて
- 環境およびエネルギー政策について
- 家庭用エネルギー料金の透明化と灯油支援について
- 環太平洋連携協定（TPP）の大筋合意による県民生活への影響について

奨学金問題の解決を！

教育フォーラムで講演

連合山形と山形県教職員組合協議会・県労福協主催の「第23回教育を考える市民フォーラム」が12月5日に開かれました。

今年は労福協が全国的に取り組んでいる“奨学金問題”について、中央労福協参与（前事務局長）の大塚敏夫氏による「奨学金問題の解決を！」と題した講演を行い、教職員組合員や連合構成組織役員、労福事業団体役員など80名の参加者と理解を深め、署名運動など労福協が取り組む運動への協力をお願いしました。



講師の大塚敏夫氏

中央労福協「第62回定期総会」

新会長に神津氏、新事務局長に花井氏を選任

中央労福協は11月27日に第62回定期総会を開催し、2016～17年度活動方針など6議案を提起し全て承認されました。

そのうち役員改選では古賀伸明会長や大塚敏夫事務局長ら6名が退任し、新たに神津里季生会長、花井圭子事務局長ら7名が新任されました。



古賀前会長(左)と神津会長(右)

生活なんでも相談 Q&A

No.18



Q.

隣家からの雨水について

隣家の建物は、私の土地との境界線近くに建っています。隣家の雨樋の一部が昨年壊れましたが、修理する予定はないそうです。そのため雨の日には、隣家の屋根の雨水が、私の土地まで飛んできます。

また、隣家の土地は私の土地よりやや高い所にあるので、降った雨水が川のように私の土地に流れきます。これまでには「しょうがないか」という気持ちでしたが、上記の雨樋の件もあるので、どうにかしたい気持ちがあります。

隣家に雨樋を修理させることはできますか？

また、流入してくる雨水を食い止めるために、境界に塀などを設置しても良いですか？

A.

本問については、民法第214条と第218条に規定があります。

第214条は「土地の所有者は隣地から水が流れてくるのを妨げてはならない」というものです。隣地から自然に流れてくる雨水を遮断すると、隣地に水が停滞して、土地利用や衛生上の問題が起こりうるので、これを防止するためのものです。低地所有者に承水義務を科したものです。よって、流入してくる雨水を食い止めるための塀などを設置することが出来ないことになります。

ます。

次に隣地の雨樋が壊れ、屋根（回答：設楽作巳弁護士）の雨水があなたの土地に飛んでくることについては同法218条に規定があり「土地の所有者は、直接に隣地に雨水を注ぐ構造の屋根その他の工作物を設けてはならない」というのです。あなたは、隣地からの雨水が自然に流れてくるのを防止することは出来ないが、屋根などの工作物のため雨水が直接注ぐことを受容しなければならない義務はないことになります。従って、隣地者が本条に違反して雨水をあなたの土地に注いで受容限度を超えていて、あなたの方で損害が生じている場合は、損害賠償請求や雨水飛散の差し止め請求ができることがあります。このようにして、隣地土地所有者に雨樋の設置を命じた裁判例もあります。

生活なんでも相談
集中相談会
期間 2/25(木)・26(金)・27(土)
10:00~17:00
電話番号 0120-39-6029



謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。

多くの「働く仲間」へ「住まい」の夢を！安心と信頼の山形県住宅生協です。

本年もご愛顧の程お願い申し上げます。 平成二十八年元旦

事業紹介

宅地分譲

山形市内をはじめ山辺町近江地区を中心に宅地分譲を行っております



サービス付き高齢者向け住宅

山形市七日町にある高齢者にやさしい賃貸住宅です
是非！一度ご見学ください！



新築・リフォーム

新築住宅・リフォーム・住宅診断・増改築も手がけております。お気軽にお問合せ下さい。



山形県住宅生協

山形県労働者住宅生活協同組合

山形市七日町一丁目 4-55 2階

●宅建業免許/山形県知事(14)第256号 ●東北地区不動産公正取引協議会加盟 ●(公社)山形県宅地建物取引業協会会員

お問い合わせ（土・日・祝は除きます）

午前 9:00 ~ 午後 5:00

0120-32-6878



年間いくらの手数料を払っていますか？



生活応援バンク

3うき

うきんなら、ATMのお引出し手数料が 実質 0円

ATMお引き出し手数料全額還元サービス

「東北ろうきん」のキャッシュカードで、銀行・信金など全国のMICS加盟店金融機関、ゆうちょ銀行、セブン銀行およびコンビニエンスストアのATM・CDから「お引き出し」された際のお引出し手数料を、【時間外】・【土曜日】・【日曜日】・【祝日】の手数料も含めて

ご利用回数分全額キャッシュバックするサービスです。

ご利用手数料はいったんご負担いただきますが、即時キャッシュバックいたします。

●対象となるカード

普通預金

貯蓄預金

マイプラン

生き活き力一
ア

2016年1月1日現在

くわしくはお近くのろうきん窓口、
またはフリーダイヤルまでどうぞ。

東北労働金庫山形県本部

0120-1919-62

掛金がお手頃な
「マンション専用プラン」を新設しました！

14

地震保障をさらに充実。
大規模半壊時の保障を手厚くしました！
※もとより自然災害共済における地震保険区分

10

3つの特約を新設。さらに
幅広い安心をご提供します!

全労清から、あなたの団体があつた。
全労清
全労清は、官僚的・目的的・ない様様の意識によって
其務者を皆み、其会員の普りそのままの姿とゆとり
ある事をしめされていて、品目金をお預かりいた
だいて各都道府県の組合員になれば、各種共
済を利用いただけます。

詳しくは全労道のホームページへ。 [全労道](#)

保障のことなら

全労済山形県本部 〒990-0827 山形市城南町1-18-22
(山形県労働者共済生活協同組合) TEL 023-646-4666(代)